TASCAM

D01165300A

iM2

Stereo Condenser Microphones for Dock connection

Made for iPod iPhone iPad

取扱説明書

このたびは、TASCAM iM2 ／ Stereo Condenser Microphones for Dock connectionをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）からダウンロードすることができます。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。
注意	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
禁止	**この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない** 火災・感電の原因となります。
	航空機の離着陸時には使用しない 航空機の運行の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やケガの原因となることがあります。
注意	5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

その他の注意

- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。
  - 振動の多い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 窓際などの直射日光が当たる場所
  - ほこりの多い場所
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本機を水に濡らさないでください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

本機の概要

- 本機は、iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代）と接続して、マイク入力対応アプリケーションで録音できるステレオマイクです。
- 角度調整可能な高感度指向性コンデンサーマイクを使用し、CD並み（44.1kHz ／ 16ビット）の高音質な音声を iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代）に記録できます。
- 過大入力による歪み防止対策のリミッター機能と、入力レベルをコントロールできる入力レベル調節機能で、最適な録音ができます。
- USBコネクター経由で iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代）を充電しながら本機をご使用いただけます。

本製品の構成

開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- iM2本体 x1
- 取扱説明書（本書） x1
- 保証書 x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機の接続する対象機種（iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代））について、「接続機器」と表記します。
- 本機および外部機器のスイッチ／端子などを「**LIMITER**スイッチ」のように太字で表記します。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

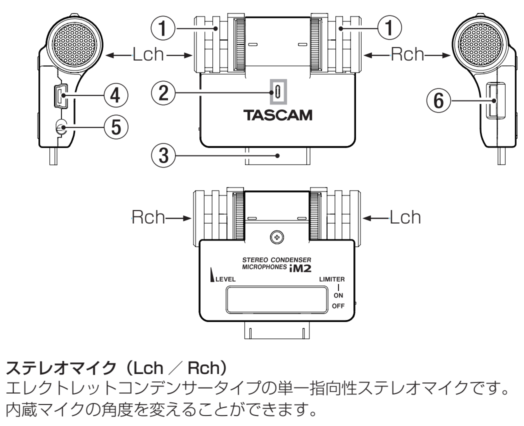
商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- iPad, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）にて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

各部の名称



① **ステレオマイク（Lch ／ Rch）**
エレクトレットコンデンサータイプの単一指向性ステレオマイクです。
内蔵マイクの角度を変えることができます。
フロント側（TASCAMロゴが見える側）から見て左側がLチャンネル、右側がRチャンネルとして録音されます。マイクの向きや本機の向きでLチャンネル/Rチャンネルが変わる事はありません。

② **パワーインジケーター**
接続機器から電源供給されると点灯します。

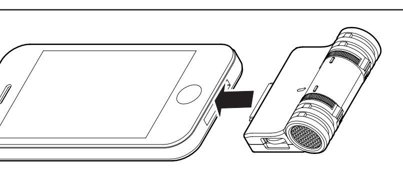
③ **接続コネクター**
iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代）に接続するためのコネクターです。

④ **充電専用USBコネクター**
接続機器の充電用コネクターです。
データ通信は行えません。

⑤ **リミッター機能オン／オフ切り換えスイッチ（LIMITER ON ／ OFF）**
入力音が歪まない様に過大入力を抑制する機能のオン／オフ切り換えを行います。
マイク側にするとオン、反対側がオフになります。

⑥ **入力レベル（LEVEL）**
①ステレオマイクからの入力レベルを調節します。
マイク側に回すとレベルが低くなり、反対側に回すと大きくなります。

接続方法



接続機器から本機に電源が供給されると、本機のパワーインジケーターが点灯します。その後にアプリケーションを起動してください。

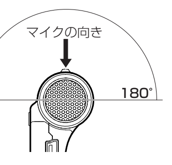
注意

- 本機を接続機器に接続しているにもかかわらず本機のマイク入力に切り換わらない場合は、一度本機を接続機器から取り外し、再度接続し直してください。アプリケーションにより、アプリケーションの起動後に本機を接続したときに、本機のマイク入力に切り換わらない場合があります。
- 接続機器にヘッドホンを挿した状態で本機を接続する場合、ヘッドホンから出力されないことがあります。その場合は、ヘッドホンプラグを一度抜き差しすることで出力します。
- 本機に使用するヘッドホンはマイク付き（4極プラグ）のものを使わないでください。ヘッドホン側のマイクに切り換わってしまうため、本機のマイクを使用することができません。
- 接続機器のスピーカーをオフにしてご使用ください。オンの状態のまま本機を接続すると、ハウリングを起こす場合があります。
- 本機のUSBコネクターに接続するUSB充電器は接続機器毎の製品に付属されたアップル純正専用充電器をお使いください。それ以外のものをお使いの場合、正しく動作しなかったり、機器を破損するおそれがあります。接続コネクターを接続後に、充電専用USBにケーブルを接続してください。
- 本機が正常に挿入されてない場合、本機および接続する機器に負荷がかかり、本機および接続機器を破損するおそれがあります。
- 入力レベルやリミッター機能オン／オフ切り換えスイッチの操作時およびマイクの向きを変える際、接続機器を押さえながら行ってください。コネクター部に強い力が加わり、抜ける可能性があります。また、抜けない場合でも、コネクター部分を破損するおそれがあります。必ず、接続する機器を押さえながら操作を行ってください。
- 通常使用時以外は、本機を接続機器から外して保管してください。接続したままで無理な負荷がかかった場合、本機または接続機器を破損するおそれがあります。

使用方法

内蔵マイクの角度を調整する

内蔵マイクの角度を変えることができます。録音時の本機の置き方と音源の位置に応じて、最適な角度を選んでください。
角度調整は、以下のように180度の範囲で変えることができます。



リミッター機能を使う

リミッター機能オン／オフ切り換えスイッチをオンにすると、入力音が歪まない様に過大入力を抑制します。音量変化が激しいライブ録音などに適しています。

メモ

入力音が大き過ぎる場合、リミッタースイッチをオンにしても歪んでしまうことがあります。その時は、入力レベルを下げるか、本機を音源から離してください。

注意

- 録音／再生中にヘッドホンの抜き差しを行うと、アプリケーションによっては動作を停止または一時停止します。特に録音中の抜き差しにはご注意ください。
- 接続機器に「機内モード」の設定がある場合は、オンにしてご使用ください。

仕様

定格

マイク指向性　：単一指向性
周波数帯域　：10Hz ～ 20kHz
サンプリング周波数　：44.1kHz
ビットレート　：16ビット

入出力定格

内蔵マイク入力
アンバランス
最大入力レベル　：125dBSPL

iOS製品用充電端子
コネクター　：USB-Mini-B

Dockコネクター
コネクター　：30ピンドックコネクター

可変ボリューム範囲
INPUT VR　：0dB ～ 40dB

動作条件

対応iOS　：4.3以降
対応機種　：iPhone 4 ／ iPad 2 ／ iPad ／ iPod touch（第4世代）
＊ 動作確認済みのiOSおよびiOSデバイスに関する最新情報は、TASCAMホームページにてご確認ください。（http://tascam.jp/）

一般定格

電源：接続機器より接続コネクター経由で供給
消費電力　：90mW
外形寸法　：55 x 48.6 x 21.4 mm（幅 x 高さ x 奥行き）
質量　：25g
動作温度　：5 ～ 35℃

アフターサービス

- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  - 型名、型番（iM2）
  - お買い上げ年月日
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ販売店名
- 当社の責に帰すべき本製品の不具合若しくは故障等に係り、当社が負う責任の範囲は、当社製品の修理もしくは交換に限らせて頂きます。
- 当社は、本機の補修用性能部分（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00です。

タスカム カスタマーサポート
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30 ～ 17:00です。

ティアック修理センター
〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

Printed in China

TASCAM

iM2

Stereo Condenser Microphones for Dock connection

Made for iPod iPhone iPad

OWNER'S MANUAL

Thank you for your purchase of the TASCAM iM2 Stereo Condenser Microphones for Dock connection.
Before connecting and using the unit, please take time to read this manual thoroughly to ensure you understand how to properly set up and connect the unit, as well as the operation of its many useful and convenient functions. After you have finished reading this manual, please keep it in a safe place for future reference.
You can also download the Owner's Manual from the TASCAM web site (http://tascam.com/).

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

1 Read these instructions.
2 Keep these instructions.
3 Heed all warnings.
4 Follow all instructions.
5 Do not use this apparatus near water.
6 Clean only with dry cloth.
7 Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
8 Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
9 Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
10 Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
11 Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
12 Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer, or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.
13 Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
14 Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

- Do not expose this apparatus to drips or splashes.
- Do not place any objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Do not install this apparatus in a confined space such as a book case or similar unit.
- The apparatus draws nominal non-operating power from the AC outlet with its POWER or STANDBY/ON switch not in the ON position.
- The apparatus should be located close enough to the AC outlet so that you can easily grasp the power cord plug at any time.
- The mains plug is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.
- If the product uses batteries (including a battery pack or installed batteries), they should not be exposed to sunshine, fire or excessive heat.
- CAUTION for products that use replaceable lithium batteries: there is danger of explosion if a battery is replaced with an incorrect type of battery. Replace only with the same or equivalent type.

Other cautions

- Do not install in the following types of places. Doing so could cause malfunctions.
  - Places with significant vibrations or that are otherwise unstable
  - Near windows or other places exposed to direct sunlight
  - Near heaters or other extremely hot places
  - Extremely cold places
  - Places with bad ventilation or high humidity
  - Very dusty locations
- Avoid installing this unit on top of any heat-generating electrical device such as a power amplifier.
- Do not let the unit become wet.
- If the unit is moved from a cold to a warm place, or used after a sudden temperature change, there is a danger of condensation; vapor in the air could condense on the internal mechanism, making correct operation impossible. To prevent this, or if this occurs, let the unit sit for one or two hours at the new room temperature before using.

■ For European Customers

Disposal of electrical and electronic equipment

(a) All electrical and electronic equipment should be disposed of separately from the municipal waste stream via collection facilities designated by the government or local authorities.
(b) By disposing of electrical and electronic equipment correctly, you will help save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment.
(c) Improper disposal of waste electrical and electronic equipment can have serious effects on the environment and human health because of the presence of hazardous substances in the equipment.
(d) The Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE) symbol, which shows a wheeled bin that has been crossed out, indicates that electrical and electronic equipment must be collected and disposed of separately from household waste.
(e) Return and collection systems are available to end users. For more detailed information about the disposal of old electrical and electronic equipment, please contact your city office, waste disposal service or the shop where you purchased the equipment.

■ For China

产品有毒有害物质或元素的名称及含量

机种：iM2		有毒有害物质或元素					
	品名	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
1	CHASSIS部份	×	○	○	○	○	○
2	PCB Assy部份	×	○	○	○	○	○
3	线材部份	○	○	○	○	○	○
4	附属品部份	×	○	○	○	○	○
5	SEAL部份	○	○	○	○	○	○
6	包装部份	○	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含有量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。
（针对现在代替技术困难的电子部品及合金中的铅）

Overview of features

- This stereo mic can be connected to an iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation) and used to record with applications that support mic input.
- Using the angle-adjustable pair of high-sensitivity directional condenser mics, you can record in high-quality 44.1 kHz/16-bit format, which is equivalent to CD audio, to an iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation).
- The limiter can prevent distortion when the input level is too loud, and the input level can also be adjusted, enabling optimal recording.
- The USB connector allows the connected iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation) to be recharged while using this unit to record.

Included items

This product includes the following items.
Take care when opening the package not to damage the items. Keep the package materials for transportation in the future.
Please contact the retailer where you purchased this unit if any of these items are missing or have been damaged during transportation.

- iM2 1
- Warranty card 1
- Owner's manual (this manual) 1

Conventions used in this manual

Buttons, jacks and other parts of this unit and other equipment are indicated in a bold font like this: **LIMITER**.

Cleaning the unit

To clean the unit, wipe it gently with a soft dry cloth. Do not wipe with chemical cleaning cloths, benzene, paint thinner, ethyl alcohol or other chemical agents to clean the unit as they could damage the surface.

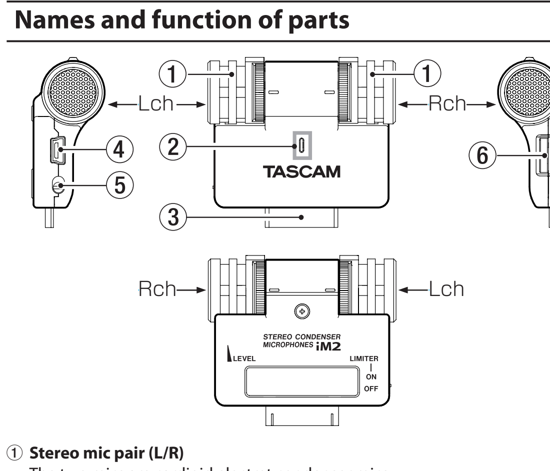
Trademarks

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

User registration

Customers in the USA, please visit the TASCAM website (http://tascam.com/) to register as a user online.

Names and function of parts



① **Stereo mic pair (L/R)**
The two mics are cardioid electret condenser mics.
The angle of the built-in mic pair can be adjusted.
When viewing the front of the unit, which is the side with the TASCAM logo, the mic on the left side will record to the left channel, while the mic on the right side will record to the right channel. The left and right channels never change regardless of the mic angle or the unit orientation.

② **Power indicator**
This lights when the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) is providing power.

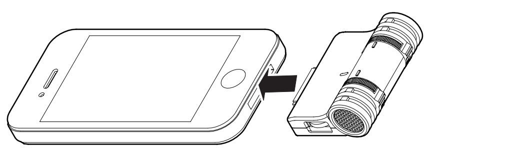
③ **iOS device connector**
Use this connector to connect an iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation).

④ **USB port for recharging**
Use this port to charge the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)).
Data cannot be transmitted through this port.

⑤ **LIMITER ON/OFF switch**
The limiter can prevent distortion when the input level is too loud. Shift this switch toward the mic to turn it ON and away from the mic to turn it OFF.

⑥ **Input level (LEVEL)**
Use to adjust the stereo mic input level.
Turn toward the mic to lower the level and away from the mic to raise the level.

Connecting the mic



The power indicator lights when the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) is providing power. Start the application that you want to use after this indicator lights.

NOTE

- Depending on the application, this unit's mic input might not be activated if you connect the unit after launching an application.
- If this unit's mic input does not become active even when connected to a device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)), try disconnecting and reconnecting.
- If you connect it to a device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) while headphones are connected, sound might not be output from the headphones. If this occurs, reconnect the headphones to restore output from the headphones.
- Use headphones that do not have a built-in mic with this unit. If you use headphones that have a built-in mic, that mic will become active and you will not be able to use this unit's mic.
- Turn the speaker of the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) OFF. If you connect this unit while its speaker is ON, feedback might occur.

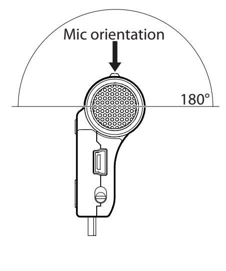
CAUTION

- Only connect the genuine Apple power adapter that came with the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) or one that is sold by Apple for the device to the USB port on this unit. Use of any other power adapter could cause malfunction or damage to the equipment. After connecting with the iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation) connector, connect the cable to the USB recharging port.
- If this unit is not inserted properly into the device, it could cause an excessive burden to the unit or the connected device and damage one or both of them.
- Always hold the connected device in place when working with this unit. When adjusting the input level, moving the limiter switch, connecting the USB cable or changing the mic orientation, hold the connected device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) in place. Excessive force on the connector could cause the unit and device to become disconnected, or even damage the connector itself.
- Disconnect this unit from the device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) and store it when not using it regularly. If left connected, a strong force could cause the unit or the device (iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)) to be damaged.

Using the mic

Adjusting the built-in mic angle

You can adjust the angle of the built-in mics. Set the mic angle according to how you have placed the unit and the sound source position when recording.
The range of mic angle adjustment is 180º as shown on the right.



Using the limiter

The limiter can prevent distortion if the input level suddenly becomes too loud. This is useful for recording live performance and other situations when extreme volume changes occur.

NOTE

- Even when the **LIMITER** switch is set to **ON**, distortion can still occur if the input volume is too loud. In this case, lower the input level (**LEVEL**) or move the unit further from the sound source.
- Depending on the application being used, disconnecting or connecting headphones during recording or playback can cause the app to stop or pause. Be careful about this, particularly when recording.
- If the connected device has an "Airplane Mode" setting, set it to "ON".

Specifications

■ Recording

Microphone type: cardioid
Frequency range: 10 Hz – 20 kHz
Sampling frequency: 44.1 kHz
Bit rate: 16

■ Inputs and outputs

Built-in mic inputs
Unbalanced
Maximum input level: 125 dB SPL

iOS device recharging port
Connector: USB-Mini-B

Dock connector
Connector: 30-pin dock connector

Volume adjustment range
INPUT: 0–40 dB

■ Operation requirements

iOS support: 4.3 or later
Device support: iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation)

NOTE

For the latest information about iOS versions and iOS devices that have been tested with this unit, please visit the TASCAM website (http://tascam.com/).

■ General

Power supply: Provided through the iPhone 4, iPad 2, iPad or iPod touch (4th generation) device connector
Power consumption: 90 mW
Dimensions (WHD): 55 x 48.6 x 21.4 mm/2.165 x 1.913 x 0.8425 in.
Weight: 25 g/0.88 oz
Operating temperature: 5–35°C/41–95°F

TASCAM

iM2

Stereo-Kondensatormikrofon mit Dockanschluss

Made for iPod iPhone iPad

OWNER'S MANUAL

Vielen Dank, dass Sie sich für das Stereo-Kondensatormikrofon iM2 mit Dockanschluss
von Tascam entschieden haben. Bevor Sie das Gerät anschließen und benutzen, empfehlen wir Ihnen, diese Gebrauchsanweisung aufmerksam durchzulesen. Nur so ist sichergestellt, dass Sie verstehen, wie man die Fernbedienung und andere Geräte anschließt, und wie man sie ordnungsgemäß bedient. Bewahren Sie diese Gebrauchsanweisung gut auf, und geben Sie sie immer zusammen mit der Fernbedienung weiter, da sie zum Gerät gehört.
Eine digitale Version steht auf unserer Website (http://tascam.de) zum Download bereit.

Wichtige Hinweise für Ihre Sicherheit

- Diese Anleitung ist Teil des Geräts. Bewahren Sie sie gut auf und geben Sie das Gerät nur mit dieser Anleitung weiter.
- Lesen Sie diese Anleitung, um das Gerät fehlerfrei nutzen zu können und sich vor eventuellen Restgefahren zu schützen.
- Beachten Sie alle Warnhinweise. Neben den hier aufgeführten allgemeinen Sicherheitshinweisen sind möglicherweise weitere Warnungen an entsprechenden Stellen dieses Handbuchs aufgeführt.
- Lassen Sie Wartungsarbeiten und Reparaturen nur von einem Tascam-Servicecenter ausführen. Bringen Sie das Gerät zu einem Tascam-Servicecenter, wenn es Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt war, wenn Flüssigkeit oder Fremdkörper hinein gelangt sind, wenn es heruntergefallen ist oder nicht normal funktioniert oder wenn das Netzkabel beschädigt ist. Benutzen Sie das Gerät nicht mehr, bis es repariert wurde.

Bestimmungsgemäße Verwendung

Benutzen Sie das Gerät nur zu dem Zweck und auf die Weise, wie in dieser Anleitung beschrieben.

WARNUNG

Schutz vor Sach- und Personenschäden durch Kurzschluss oder Brand

- Öffnen Sie nicht das Gehäuse.
- Verwenden Sie nur den mitgelieferten oder vom Hersteller empfohlene Wechselstromadapter. Verwenden Sie den Wechselstromadapter nicht mit anderen Geräten.
- Wenn das Gerät raucht oder einen ungewöhnlichen Geruch verströmt, trennen Sie es sofort vom Stromnetz und bringen Sie es zu einem Tascam-Servicecenter.
- Stellen Sie das Gerät immer so auf, dass es nicht nass werden kann. Setzen Sie das Gerät niemals Regen, hoher Luftfeuchte oder anderen Flüssigkeiten aus.
- Stellen Sie keine mit Flüssigkeit gefüllten Behälter (Vasen, Kaffeetassen usw.) auf das Gerät.
- Reinigen Sie das Gerät nur mit einem trockenen Tuch.

Schutz vor Sach- und Personenschäden durch falsches Zubehör

- Verwenden Sie nur Zubehör oder Zubehörteile, die der Hersteller empfiehlt.
- Verwenden Sie nur Wagen, Ständer, Stative, Halter oder Tische, die vom Hersteller empfohlen oder mit dem Gerät verkauft werden.

Ergänzende Sicherheitshinweise zur Aufstellung

- Stellen Sie das Gerät nicht an den im Folgenden bezeichneten Orten auf. Andernfalls kann es zu Fehlfunktionen kommen.
  - Orte, die starken Erschütterungen ausgesetzt sind oder die instabil sind,
  - Orte mit direkter Sonneneinstrahlung (z. B. an ein Fenster),
  - in der Nähe von Heizgeräten oder an anderen Orten, an denen hohe Temperaturen herrschen,
  - wenn die Temperatur unter dem Gefrierpunkt liegt,
  - Orte mit schlechter Belüftung oder hoher Luftfeuchte,
  - Orte mit hoher Staubkonzentration.
  - Stellen oder legen Sie keine Gegenstände auf das Gerät, damit die Wärmeabfuhr gewährleistet ist.
  - Stellen Sie das Gerät nicht auf einen Leistungsverstärker oder andere Geräte, die Wärme abgeben.
  - Wenn Sie das Gerät aus einer kalten Umgebung in eine warme Umgebung bringen, in einem schnell beheizbaren Raum einsetzen oder anderen plötzlichen Temperaturschwankungen aussetzen, besteht die Gefahr, dass sich Kondenswasser bildet. Um dies zu vermeiden, lassen Sie das Gerät ein bis zwei Stunden stehen, bevor Sie es einschalten.

Angaben zur Entsorgung

Entsorgung von Altgeräten

Wenn ein Symbol einer durchgestrichenen Mülltonne auf einem Produkt, der Verpackung und/oder der begleitenden Dokumentation angebracht ist, unterliegt dieses Produkt den europäischen Richtlinien 2002/96/EC und/oder 2006/66/EC sowie nationalen Gesetzen zur Umsetzung dieser Richtlinien.
Richtlinien und Gesetze schreiben vor, dass Elektro- und Elektronik-Altgeräte nicht in den Hausmüll (Restmüll) gelangen dürfen. Um die fachgerechte Entsorgung, Aufbereitung und Wiederverwertung sicherzustellen, sind Sie verpflichtet, Altgeräte über staatlich dafür vorgesehene Stellen zu entsorgen.
Durch die ordnungsgemäße Entsorgung solcher Geräte leisten Sie einen Beitrag zur Einsparung wertvoller Rohstoffe und verhindern potenziell schädliche Auswirkungen auf die menschliche Gesundheit und die Umwelt, die durch falsche Abfallentsorgung entstehen können. Die Entsorgung ist für Sie kostenlos.
Weitere Informationen zur Wertstoffsammlung und Wiederverwertung von Altgeräten erhalten Sie bei Ihrer Stadtverwaltung, dem für Sie zuständigen Abfallentsorgungsunternehmen oder der Verkaufsstelle, bei der Sie das Produkt erworben haben.

Das Gerät reinigen

Verwenden Sie zum Reinigen des Recorders ein trockenes, weiches Tuch. Verwenden Sie zum Reinigen niemals getränkte Reinigungstücher auf chemischer Basis, Reinigungsbenzin, Verdünner, Alkohol oder andere chemische Substanzen, da diese die Oberfläche angreifen können.

Hinweise zum Markenrecht

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- „Made for iPod", „Made for iPhone", and „Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Hinweise zur Benutzung dieser Anleitung

Tasten, Buchsen und andere Bedienelemente an diesem Gerät kennzeichnen wir wie folgt mit fett gesetzten Großbuchstaben: **LIMITER**.

Lieferumfang

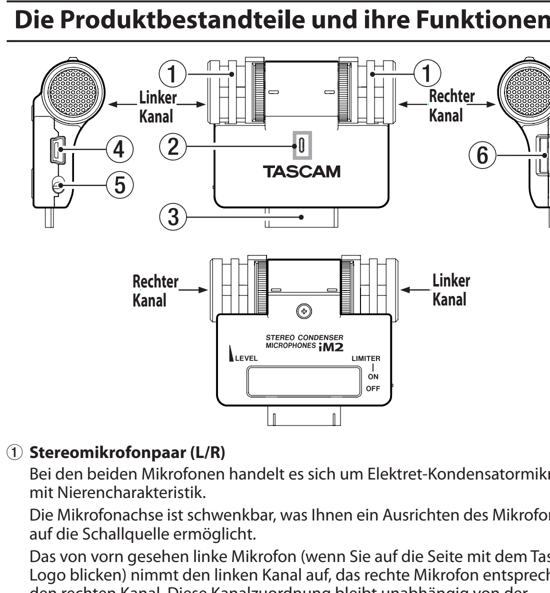
Zum Lieferumfang dieses Produkts gehören die folgenden Bestandteile:
Achten Sie beim Öffnen der Verpackung darauf, dass Sie nichts beschädigen. Bewahren Sie das Verpackungsmaterial für einen eventuellen Transport auf.
Sollte etwas fehlen oder auf dem Transport beschädigt worden sein, wenden Sie sich bitte an Ihren Händler.

- iM2 1
- Garantiekarte 1
- Gebrauchsanweisung (das vorliegende Dokument) 1

Produktmerkmale

- Verbinden Sie dieses Stereomikrofon mit einem iPhone 4, iPad, iPad2 oder iPod touch (4. Generation), und erstellen Sie Aufnahmen mithilfe von Apps, die ein Mikrofonsignal aufzeichnen können.
- Zwei hochempfindliche, gerichtete und verstellbare Kondensatormikrofon-kapseln.
- Die Mikrofonsignale werden bereits im iM2 in Digitalsignale gewandelt und über den Dockanschluss in das angeschlossene Gerät geleitet. Dies ermöglichen Ihnen hochwertige Stereoaufnahmen mit einer Abtastrate von 44,1 kHz und einer Auflösung von 16 Bit, also in CD-Qualität, direkt auf Ihrem iPhone 4, iPad, iPad 2 oder iPod touch (4. Generation).
- Der eingebaute Limiter verhindert Verzerrungen durch zu hohe Eingangspegel, während ein zusätzlicher Eingangspegelregler für ein optimales Aufnahme-ergebnis sorgt.
- Eine USB-Minibuchse ermöglicht Ihnen, das angeschlossene iPhone 4, iPad, iPad 2 oder iPod touch (4. Generation) während der Aufnahme aufzuladen.

Die Produktbestandteile und ihre Funktionen



① **Stereomikrofonpaar (L/R)**
Bei den beiden Mikrofonen handelt es sich um Elektret-Kondensatormikrofone mit Nierencharakteristik.
Die Mikrofonachse ist schwenkbar, was Ihnen ein Ausrichten des Mikrofonpaars auf die Schallquelle ermöglicht.
Das von vorn gesehen linke Mikrofon (wenn Sie auf die Seite mit dem Tascam-Logo blicken) nimmt den linken Kanal auf, das rechte Mikrofon entsprechend den rechten Kanal. Diese Kanalzuordnung bleibt unabhängig von der Ausrichtung der Mikrofonachse oder des Geräts immer dieselbe.

② **Betriebsanzeigelämpchen**
Leuchtet, wenn das verbundene Gerät das iM2 mit Strom versorgt.

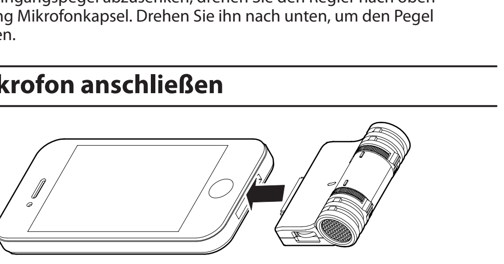
③ **iOS-Gerätesteckverbinder**
Mithilfe dieses Steckverbinders verbinden Sie das iM2 mit Ihrem iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation).

④ **USB-Anschluss zum Aufladen**
Nutzen Sie diesen Anschluss, um Ihr iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation) aufzuladen.
Es ist nicht möglich, Daten über diesen Anschluss zu übertragen.

⑤ **LIMITER ON/OFF-Schalter**
Der eingebaute Limiter kann Verzerrungen durch einen zu hohen Eingangspegel verhindern. Um den Limiter einzuschalten, schieben Sie den Schalter nach oben in Richtung Mikrofonkapsel. Schieben Sie ihn nach unten, um den Limiter auszuschalten.

⑥ **Eingangspegelregler (LEVEL)**
Mit diesem Drehregler passen Sie den Eingangspegel des Stereomikrofons an.
Um den Eingangspegel abzusenken, drehen Sie den Regler nach oben in Richtung Mikrofonkapsel. Drehen Sie ihn nach unten, um den Pegel anzuheben.

Das Mikrofon anschließen



Das Betriebsanzeigelämpchen leuchtet auf, sobald das iM2 durch das verbundene Gerät mit Strom versorgt wird. Sobald das Lämpchen leuchtet und die Betriebsbereitschaft anzeigt, können Sie die gewünschte App starten.

Wichtig

- Bei manchen Apps wird das Mikrofon möglicherweise nicht aktiviert, wenn Sie es erst anschließen, nachdem die Anwendung bereits gestartet wurde.
- Sollte das Mikrofon nicht in Betriebsbereitschaft gehen, trennen Sie die Verbindung mit Ihrem Gerät und schließen Sie es anschließend erneut an.
- Wenn Sie das Mikrofon mit Ihrem Gerät verbinden, während an diesem ein Kopfhörer angeschlossen ist, wird über den Kopfhörer möglicherweise kein Ton mehr ausgegeben. Ziehen Sie in einem solchen Fall den Kopfhörerstecker heraus und verbinden Sie ihn erneut mit dem Gerät, um die Tonausgabe wiederherzustellen.
- Verwenden Sie nur einen Kopfhörer ohne eigenes Mikrofon, während Sie das iM2 nutzen. Kopfhörer mit aktiviertem eigenem Mikrofon (Headsets) verhindern den Zugriff auf das Mikrofon des iM2.
- Schließen Sie den Kopfhörer direkt an die Kopfhörerbuchse Ihres iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation) an.

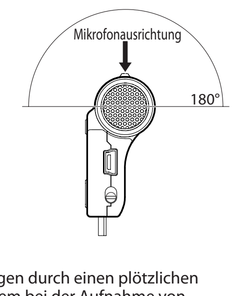
VORSICHT

- Schalten Sie den Lautsprecher Ihres iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation) aus. Wenn Sie das Mikrofon bei eingeschaltetem Lautsprecher verwenden, kann es zu akustischen Rückkopplungen kommen.
- Verwenden Sie am USB-Anschluss des iM2 nur den zu Ihrem Gerät gehörenden Originaladapter von Apple oder einen Adapter, der von Apple für das Gerät autorisiert wurde. Die Verwendung eines anderen Adapters kann zu Fehlfunktionen oder einer Beschädigung der Geräte führen. Für die Verbindung zwischen dem Apple-Adapter und dem USB-Anschluss des iM2 benötigen Sie ein Kabel mit USB-Ministecker. Verbinden Sie das Kabel mit dem USB-Anschluss, nachdem Sie das iM2 mit ihrem iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation) verbunden haben.
- Achten Sie auf einen festen Sitz der Steckverbindung zwischen dem Mikrofon und Ihrem Gerät. Bei einer unzureichenden Verbindung treten Hebelkräfte auf, die zu einer Beschädigung beider Geräte führen können.
- Achten Sie stets darauf, bei der Handhabung des Mikrofons auch das Gerät festzuhalten. Um eine übermäßige Belastung der Steckverbindung zu verhindern, halten Sie Ihr iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation) und das Mikrofon fest, wenn Sie den Eingangspegel ändern, den Limiter-Schalter betätigen, das USB-Kabel anschließen oder die Mikrofone ausrichten. Andernfalls kann sich die Steckverbindung lösen oder schlimmstenfalls beschädigt werden.
- Wenn Sie das Mikrofon nicht verwenden, trennen Sie es von Ihrem Gerät, um es getrennt aufzubewahren. Solange das Mikrofon mit Ihrem Gerät (iPhone 4, iPad 2, iPad oder iPod touch (4. Generation)) verbunden ist, besteht die Möglichkeit, dass beide Geräte durch ungewollte Krafteinwirkung beschädigt werden.

Das Mikrofon nutzen

Das Mikrofon ausrichten

Sie können die Achse des Stereomikrofons auf die Schallquelle ausrichten. Wählen Sie je nach Ausrichtung des Geräts und Richtung der Schallquelle den geeigneten Winkel.
Die Mikrofonachse ist um 180° schwenkbar. Richten Sie die Markierung auf die Schallquelle aus (siehe Abbildung).



Den Limiter nutzen

Der eingebaute Limiter ist hilfreich, um Verzerrungen durch einen plötzlichen Anstieg des Eingangspegels zu vermeiden. Vor allem bei der Aufnahme von Livemusik oder in ähnlichen Situationen, in denen starke Pegelschwankungen auftreten, erweist sich diese Funktion als nützlich. Um ihn zu nutzen, stellen Sie den **LIMITER**-Schalter in die Stellung **ON**.

Wichtig

- Auch bei eingeschaltetem Limiter sind immer noch Übersteuerungen durch einen zu hohen Eingangspegel möglich. Senken Sie in einem solchen Fall den Eingangspegel mithilfe des **LEVEL**-Reglers ab oder vergrößern Sie den Abstand zur Schallquelle.
- Bei manchen Apps kann es sein, dass die Aufnahme oder Wiedergabe stoppt oder auf Pause geschaltet wird, sobald Sie einen Kopfhörer anschließen oder die Verbindung trennen. Bedenken Sie dies vor allem in Aufnahmesituationen.
- Wenn das angeschlossene Gerät über einen Flugmodus verfügt, aktivieren Sie diesen.

Technische Daten

■ Aufnahme

Mikrofontyp: Niere
Frequenzbereich: 10 Hz – 20 kHz
Abtastrate: 44,1 kHz
Auflösung: 16 Bit6

■ Anschlüsse und sonstige Daten

Eingebaute Mikrofone
Unsymmetrisch
Maximale Belastbarkeit: 125 dB SPL

iOS-Ladebuchse
Anschlusstyp: USB, Mini-B-Buchse

Dock-Anschluss
Anschlusstyp: 30-poliger Dock-Steckverbinder

Regelbereich
Eingangspegel: 0–40 dB

■ Systemanforderungen

Unterstützte iOS-Versionen 4.3 oder höher
Unterstützte Produkte: iPhone 4, iPad 2, iPad und iPod touch (4. Generation)

Anmerkung

Die neuesten Informationen zu den getesteten iOS-Versionen und iOS-Geräten finden Sie auf der Tascam-Website unter http://tascam.de.

■ Stromversorgung und sonstige Daten

Stromversorgung: erfolgt via Steckverbindung durch das verbundene Gerät (iPhone 4, iPad 2, iPad und iPod touch (4. Generation))
Leistungsaufnahme: 90 mW
Abmessungen (B × H × T): 55 mm × 49 mm × 21 mm
Gewicht: 25 g
Betriebstemperaturbereich: 5–35 °C

TASCAM

iM2

Microphones stéréo à condensateur pour connexion de dock

Made for iPod iPhone iPad

Mode d'emploi

Merci d'avoir choisi les microphones stéréo à condensateur pour connexion de dock iM2 TASCAM.

Avant de le brancher et de l'utiliser, veuillez prendre le temps de lire ce mode d'emploi en totalité pour vous assurer une bonne compréhension de sa mise en service et de son branchement, ainsi que du mode opératoire de ses nombreuses fonctions utiles et pratiques. Une fois la lecture de ce mode d'emploi terminée, veillez à le conserver en lieu sûr pour référence ultérieure.

Vous pouvez aussi télécharger le mode d'emploi depuis le site internet TASCAM (http://tascam.com/).

INSTRUCTIONS DE SÉCURITÉ IMPORTANTES

1 Lisez ces instructions.
2 Conservez ces instructions.
3 Tenez compte de tous les avertissements.
4 Suivez toutes les instructions.
5 N'utilisez pas cet appareil avec de l'eau à proximité.
6 Nettoyez-le uniquement avec un chiffon sec.
7 Ne bloquez aucune ouverture de ventilation. Installez-le conformément aux instructions du fabricant.
8 Ne l'installez pas près de sources de chaleur telles que des radiateurs, bouches de chauffage, poêles ou autres appareils (y compris des amplificateurs) produisant de la chaleur.
9 Ne neutralisez pas la fonction de sécurité de la fiche polarisée ou de terre. Une fiche polarisée a deux broches, l'une plus large que l'autre. Une fiche de terre a deux broches identiques et une troisième broche pour la mise à la terre. La broche plus large ou la troisième broche servent à votre sécurité. Si la fiche fournie n'entre pas dans votre prise, consultez un électricien pour le remplacement de la prise obsolète.
10 Évitez de marcher sur le cordon d'alimentation et de le pincer, en particulier au niveau des fiches, des prises secteur, et du point de sortie de l'appareil.
11 N'utilisez que des fixations/accessoires spécifiés par le fabricant.
12 Utilisez-le uniquement avec des chariots, socles, trépieds, supports ou tables spécifiés par le fabricant ou vendus avec l'appareil. Si un chariot est utilisé, faites attention à ne pas être blessé par un renversement lors du déplacement de l'ensemble chariot/appareil.



13 Débranchez cet appareil en cas d'orage ou de non utilisation prolongée.
14 Confiez toute réparation à des techniciens de maintenance qualifiés. Une réparation est nécessaire si l'appareil a été endommagé d'une quelconque façon, par exemple si le cordon ou la fiche d'alimentation est endommagé, si du liquide a été renversé sur l'appareil ou si des objets sont tombés dedans, si l'appareil a été exposé à la pluie ou à l'humidité, s'il ne fonctionne pas normalement, ou s'il est tombé.

- N'exposez pas cet appareil aux gouttes ni aux éclaboussures.
- Ne placez pas d'objet rempli de liquide sur l'appareil, comme par exemple un vase.
- N'installez pas cet appareil dans un espace confiné comme une bibliothèque ou un meuble similaire.
- L'appareil tire un courant nominal de veille de la prise secteur quand son interrupteur POWER ou STANDBY/ON n'est pas en position ON.
- L'appareil doit être placé suffisamment près de la prise de courant pour que vous puissiez à tout moment attraper facilement la fiche du cordon d'alimentation
- La fiche secteur est utilisée comme dispositif de déconnexion et doit donc toujours rester disponible.
- Si le produit utilise des piles/batteries (y compris un pack de batteries ou des piles installées), elles ne doivent pas être exposées au soleil, au feu ou à une chaleur excessive.
- PRÉCAUTION pour les produits qui utilisent des batteries remplaçables au lithium : remplacer une batterie par un modèle incorrect entraîne un risque d'explosion. Remplacez-les uniquement par un type identique ou équivalent.

Autres précautions

- N'installez pas le produit dans les types de lieu suivants. Cela pourrait entraîner un mauvais fonctionnement.
  - Lieux sujets à des vibrations significatives ou globalement instables
  - Près de fenêtres ou dans des endroits exposés directement au soleil
  - Près de chauffages ou dans des lieux extrêmement chauds
  - Lieux extrêmement froids
  - Lieux mal ventilés ou très humides
  - Lieux très poussiéreux
- Évitez d'installer cet appareil au-dessus d'un dispositif électrique produisant de la chaleur comme un amplificateur de puissance.
- Ne mouillez pas l'unité.
- Si l'unité est déplacée d'un endroit froid à un endroit chaud, ou utilisée après un changement soudain de température, il existe un danger de condensation. Pour empêcher cela ou si cela se produit, laissez l'unité une ou deux heures à la température de la nouvelle pièce avant de l'utiliser.

■ Pour les consommateurs européens

Mise au rebut des équipements électriques et électroniques

(a) Tout équipement électrique et électronique doit être traité séparément de la collecte municipale d'ordures ménagères dans des points de collecte désignés par le gouvernement ou les autorités locales.
(b) En vous débarrassant correctement des équipements électriques et électroniques, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine et l'environnement.
(c) Le traitement incorrect des déchets d'équipements électriques et électroniques peut avoir des effets graves sur l'environnement et la santé humaine en raison de la présence de substances dangereuses dans les équipements.
(d) Le symbole de déchets d'équipements électriques et électroniques (DEEE), qui représente une poubelle à roulettes barrée d'une croix, indique que l'équipement électrique et électronique doit être collecté et traité séparément des déchets ménagers.



(e) Des systèmes de retour et de collecte sont disponibles pour l'utilisateur final. Pour des informations plus détaillées sur la mise au rebut des vieux équipements électriques et électroniques, veuillez contacter votre mairie, le service d'ordures ménagères ou le magasin auprès duquel vous avez acquis l'équipement.

Vue d'ensemble des caractéristiques

- Ces micros stéréo peuvent être branchés à un iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération) et servir à enregistrer avec des applications qui acceptent une entrée micro.
- Grâce à la paire de micros à condensateur directionnels haute sensibilité avec angle réglable, vous pouvez enregistrer en haute qualité au format 44,1 kHz/16 bits, qui est équivalent au CD audio, dans un iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération).
- Le limiteur peut empêcher la distorsion quand le niveau d'entrée est trop élevé, et le niveau d'entrée peut aussi être réglé, ce qui permet un enregistrement optimal.
- Le connecteur USB permet à l'iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération) connecté d'être rechargé pendant que l'unité enregistre.

Éléments fournis avec ce produit

Le carton du iM2 contient les éléments suivants.

Prenez soin de ne pas endommager ces éléments lors du déballage. Conservez les matériaux d'emballage pour de futurs transports.

Si un élément quelconque est manquant ou a été endommagé durant le transport, veuillez contacter le magasin dans lequel vous avez acheté cette unité.

- iM2 1
- Carte de garantie 1
- Mode d'emploi (ce document) 1

Conventions employées dans ce mode d'emploi

Quand nous nous référons à une touche, un connecteur ou une commande du iM2, nous les représentons comme ceci : **LIMITER**.

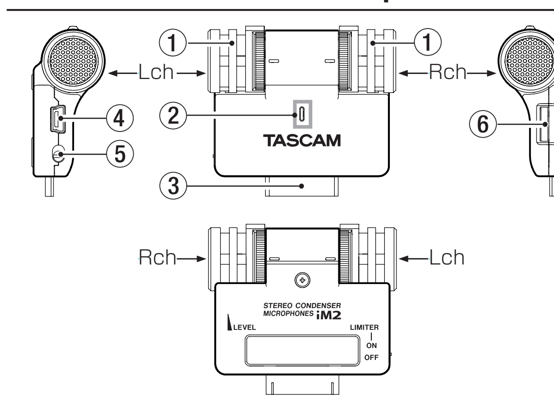
Nettoyage de l'unité

Pour nettoyer l'unité, essuyez-la délicatement avec un chiffon sec et doux. N'utilisez pas de lingettes nettoyantes imbibées de produit chimique, de benzène, de diluant pour peinture, d'alcool ou autre agent chimique pour nettoyer l'unité car cela pourrait endommager la surface.

Marques commerciales

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Nomenclature et fonctions des parties



① **Paire de micros stéréo (G/D)**
Les deux micros sont des micros à condensateur électret cardioïdes.
L'angle de la paire de micros intégrée peut être réglé.
Quand on regarde l'avant de l'unité, qui porte le logo TASCAM, le micro de gauche enregistre sur le canal gauche et le micro de droite sur le canal droit. Les canaux gauche et droit ne changent jamais quels que soient l'angle des micros et l'orientation de l'unité.

② **Voyant d'alimentation**
Il s'allume quand l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) fournit l'alimentation.

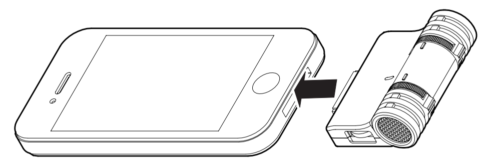
③ **Connecteur d'appareil iOS**
Utilisez ce connecteur pour brancher un iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération).

④ **Port USB pour la recharge**
Utilisez ce port pour charger l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération))
Aucune donnée ne peut être transmise par ce port

⑤ **Commutateur de limiteur**
Le limiteur peut empêcher la distorsion quand le niveau d'entrée est trop élevé. Poussez ce commutateur vers les micros pour le régler sur ON et dans l'autre sens pour le régler sur OFF.

⑥ **Niveau d'entrée (LEVEL)**
Utilisez-le pour régler le niveau d'entrée des micros stéréo.
Tournez-le vers les micros pour baisser le niveau et dans le sens inverse pour monter le niveau.

Connexion des micros



Le voyant d'alimentation s'allume quand l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) fournit l'alimentation. Lancez l'application que vous souhaitez utiliser après que ce voyant se soit allumé.

NOTE

- Selon l'application, l'entrée micro de cette unité peut ne pas être activée si vous branchez l'unité après avoir lancé une application.
- Si l'entrée micro de cette unité ne s'active pas même une fois un appareil (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) connecté, essayez de débrancher puis de rebrancher.
- Si vous la branchez à un appareil (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) alors que des écouteurs sont branchés, il peut ne pas y avoir de son dans les écouteurs. Si c'est le cas, rebranchez les écouteurs pour rétablir la sortie par ceux-ci.
- Avec cette unité, utilisez des écouteurs qui n'ont pas de micro intégré. Si vous utilisez des écouteurs ayant un micro intégré, ce dernier s'activera et vous ne pourrez pas utiliser les micros de cette unité.
- Coupez le haut-parleur de l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)). Si vous branchez cette unité avec le haut-parleur en service, une réinjection ou "larsen" peut se produire.

ATTENTION

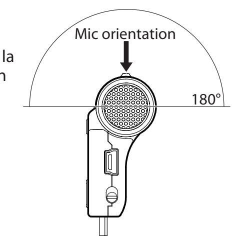
- Ne branchez au port USB de cette unité que l'adaptateur secteur Apple livré d'origine avec l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) ou un modèle vendu par Apple pour cet appareil. L'emploi de toute autre adaptateur secteur pourrait entraîner un mauvais fonctionnement ou causer des dommages à l'équipement. Après branchement au connecteur de l'iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération), branchez le câble au port USB de recharge.
- Si cette unité n'est pas bien insérée dans l'appareil, elle peut causer une charge excessive pour l'unité ou l'appareil connecté, et endommager l'un, l'autre, ou les deux.
- Maintenez toujours l'appareil connecté en place quand vous travaillez avec cette unité. Quand vous réglez le niveau d'entrée, déplacez le commutateur du limiteur, branchez le câble USB ou changez l'orientation des micros, maintenez en place l'appareil connecté (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)). Une force excessive appliquée au connecteur pourrait causer la déconnexion de l'unité et de l'appareil, voire endommager le connecteur lui-même.
- Débranchez cette unité de l'appareil (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)) et rangez-la si vous ne l'utilisez pas régulièrement. Si elle reste connectée, une puissante force pourrait endommager l'unité ou l'appareil (iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)).

Emploi du micro

Réglage de l'angle des microphones intégrés

Vous pouvez régler l'angle des microphones intégrés. Réglez l'angle des micros en fonction de la façon dont vous avez placé l'unité et de la position de la source sonore à l'enregistrement.

La plage de réglage de l'angle des micros est de 180°, comme indiqué à droite.



Emploi du limiteur

Le limiteur peut empêcher la distorsion si le niveau d'entrée devient soudainement trop élevé. C'est utile pour enregistrer des prestations live et autres situations où se produisent des changements de volume extrêmes.

NOTE

- Même quand le commutateur **LIMITER** est réglé sur **ON**, de la distorsion peut néanmoins survenir si le volume d'entrée est trop élevé. Dans ce cas, baissez le niveau d'entrée (**LEVEL**) ou éloignez l'unité de la source sonore.
- Selon l'application utilisée, débrancher ou brancher des écouteurs pendant l'enregistrement ou la lecture peut causer l'arrêt ou la mise en pause de l'application. Faites-y attention, particulièrement en enregistrement.
- Si l'appareil connecté a un paramètre "Mode avion", réglez-le sur"ON".

Caractéristiques techniques

■ Enregistrement

Type des microphones : cardioïde
Type des microphones : cardioïde 10 Hz – 20 kHz
Fréquence d'échantillonnage : 44,1 kHz
Résolution binaire : 16

■ Entrées et sorties

Entrées des micros intégrés
Asymétriques
Niveau d'entrée maximal : 125 dB de niveau de pression sonore (SPL)

Port de recharge d'appareil iOS
Connecteur : USB type mini-B

Connecteur de dock
Connecteur : connecteur de dock 30 broches

Plage de réglage de volume
INPUT: 0–40 dB

■ Conditions de fonctionnement requises

iOS pris en charge : 4.3 ou supérieur
Appareils pris en charge : iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)

NOTE

Pour les toutes dernières informations sur les versions d'iOS et sur les appareils iOS qui ont été testés avec cette unité, veuillez consulter le site web TASCAM (http://tascam.com/).

■ Générales

Alimentation électrique : fournie par le connecteur de l'iPhone 4, iPad 2, iPad ou iPod touch (4e génération)
Consommation électrique : 90 mW
Dimensions (L x H x P) : 55 x 48,6 x 21,4 mm
Poids : 25 g
Température de fonctionnement : 5–35°C

TASCAM

iM2

Microfoni stereo a condensatore per connessione Dock

Made for iPod iPhone iPad

MANUALE DI ISTRUZIONI

Grazie per aver acquistato i microfoni stereo a condensatore TASCAM iM2 per connessione Dock.

Prima di collegare e usare l'unità, si prega di leggere a fondo questo manuale per poter capire in modo corretto come collegare l'unità, così come tutte le operazioni e le molte utili funzioni. Dopo la lettura di questo manuale, si consiglia di conservarlo in un luogo sicuro per futuri riferimenti.

Il manuale di istruzioni è scaricabile anche dal sito web TASCAM (http://tascam.com/).

IMPORTANTI NORME DI SICUREZZA

1 Leggere le seguenti istruzioni.
2 Conservare queste istruzioni.
3 Prestare attenzione agli avvertimenti.
4 Seguire tutte le istruzioni.
5 Non usare l'apparecchio vicino all'acqua.
6 Pulire solo con un panno asciutto.
7 Non bloccare le aperture per la ventilazione. Installare secondo le istruzioni del costruttore.
8 Non installare l'apparecchio vicino a fonti di calore come radiatori, regolatori di calore, stufe o altri apparecchi che producono calore (inclusi gli amplificatori).
9 Non eliminare la spina polarizzata di sicurezza o la spina di messa a terra. La spina polarizzata ha due lame, una più larga dell'altra. Una spina di messa a terra ha due lame e una terza punta di messa terra. La lama larga o la terza punta sono fornite per la vostra sicurezza. Se la spina fornita non è adatta al tipo di presa, consultate un elettricista per sostituire la presa obsoleta.
10 Non calpestare o strattonare il cordone di alimentazione, in modo particolare vicino alla spina e alla presa a cui è collegato l'apparecchio e dal punto in cui esce dall'apparecchio.
11 Usare solamente attacchi/accessori specificati dal costruttore.
12 Usare solo carrello, supporto, treppiede, mensola o tavola specificata dal costruttore o venduto insieme all'apparecchio. Quando viene usato un carrello, prestare attenzione quando si sposta la combinazione carrello/apparato per evitare cadute da sopra.



13 Scollegare questo apparato durante temporali o quando non viene utilizzato per lunghi periodi di tempo.
14 Rivolgersi solo a personale qualificato. La riparazione è richiesta quando l'apparecchio è stato danneggiato in qualunque modo, come nel caso che il cordone dell'alimentazione o la spina siano stati danneggiati, l'apparecchio sia stato esposto a pioggia o umidità, non funzioni correttamente o sia stato lasciato cadere.

- Non esporre questo apparecchio a gocciolamenti o schizzi.
- Non appoggiare alcun oggetto riempito d'acqua, come vasi, sopra l'apparecchio.
- Non installare questo apparecchio in spazi ristretti come una vetrina per libri o luoghi simili.
- L'apparecchio conduce corrente nominale non operativa di alimentazione dalla presa di corrente quando la sua alimentazione STANDBY/ON non è in posizione ON.
- L'apparecchio dovrebbe essere collocato abbastanza vicino alla presa di corrente in modo da poter facilmente afferrare la spina del cavo di alimentazione in qualsiasi momento.
- La spina è utilizzata come dispositivo di scollegamento che dovrà rimanere facilmente accessibile.
- Se l'apparecchio usa batterie (inclusi pacchetto di batterie o batterie installate) queste non dovrebbero essere esposte alla luce solare o al calore eccessivo.
- CAUTELA per i prodotti che utilizzano batterie al litio sostituibili: vi è pericolo di esplosione se la batteria viene sostituita con un tipo non corretto di batteria. Sostituire solo con lo stesso tipo o equivalente.

Altre precauzioni

- Non installare nei seguenti luoghi per non causare malfunzionamenti.
  - Luoghi instabili o soggetti a forti vibrazioni
  - Vicino a finestre o luoghi esposti a luce solare diretta
  - Vicino a stufe o luoghi estremamente caldi
  - Luoghi estremamente freddi
  - Luoghi poco ventilati o con eccessiva umidità
  - Luoghi molto polverosi
- Evitare di collocare l'unità sopra apparecchi elettrici che generano calore come amplificatori di potenza.
- Non permettere che l'unità si bagni.
- Se l'unità viene spostata da un luogo freddo a uno caldo o usata dopo un improvviso cambio di temperatura, può verificarsi la creazione di condensa; il vapore nell'aria potrebbe condensarsi sul meccanismo interno, rendendo le operazioni impossibili. Per prevenire la condensa o per eliminarla nel caso si verifichi, lasciare l'unità per una o due ore alla nuova temperatura ambiente prima di usarla.

■ Per gli utenti europei

Smaltimento di apparecchiature elettriche ed elettroniche

(a) Tutte le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere smaltite separatamente dai rifiuti urbani mediante impianti di raccolta specifici designati dal governo o dalle autorità locali.
(b) Lo smaltimento in modo corretto delle apparecchiature elettriche ed elettroniche contribuisce a risparmiare preziose risorse ed evitare potenziali effetti negativi sulla salute umana e l'ambiente.
(c) Lo smaltimento non corretto di apparecchiature può avere gravi conseguenze sull'ambiente e sulla salute umana come risultato della presenza di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche.
(d) Il simbolo barrato della pattumiera indica che le apparecchiature elettriche ed elettroniche devono essere raccolte e smaltite separatamente dai rifiuti domestici.



(e) I sistemi di raccolta sono a disposizione degli utenti finali. Per informazioni più dettagliate sullo smaltimento delle vecchie apparecchiature elettriche ed elettroniche, contattare il comune, il servizio di smaltimento rifiuti o il negozio dove è stato acquistato l'apparecchio.

Panoramica delle caratteristiche

- Questo microfono stereo può essere collegato a un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione) e utilizzato per registrare con applicazioni che supportano un ingresso microfonico.
- Utilizzando la coppia di microfoni direzionali a condensatore ad alta sensibilità con angolo regolabile, è possibile registrare su un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione) in formato 44,1 kHz/16 bit, che equivale alla qualità CD audio.
- Il limitatore può prevenire la distorsione quando il livello di ingresso è troppo forte, mentre il livello di ingresso può essere regolato, permettendo una registrazione ottimale.
- Il connettore USB consente di collegare l'iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione) per la ricarica durante l'utilizzo di questo apparecchio in registrazione.

Articoli inclusi nella confezione

La confezione del iM2 contiene i seguenti articoli.

Si prega di aprire la confezione con cura evitando di danneggiare l'unità e di conservare la scatola e gli imballi per un eventuale trasporto futuro.

Se uno degli accessori è mancante o appare danneggiato dal trasporto, si prega di contattare il proprio rivenditore.

- iM2 1
- Cartolina di garanzia 1
- Manuale di istruzioni (questo documento) 1

Convenzioni usate in questo manuale

I riferimenti a prese, tasti o controlli del iM2, vengono indicati con il seguente carattere: **LIMITER**.

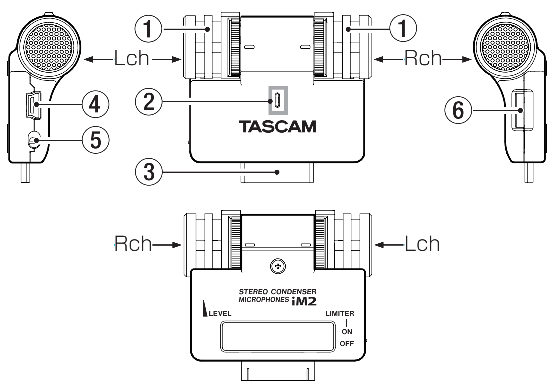
Pulizia dell'unità

Per pulire l'unità, asciugarla delicatamente con un panno morbido e asciutto. Non usare prodotti chimici per pulizie, benzene, diluenti, alcool etilico o altri agenti chimici per pulire l'unità, in quanto potrebbero danneggiare la superficie.

Trademarks

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Nomi e funzioni delle parti



① **Coppia di microfoni stereo (L/R)**
I due microfoni sono cardioidi a condensatore electret.
L'angolo della coppia di microfoni incorporati può essere regolato.
Guardando la parte anteriore dell'unità, che è il lato con il logo TASCAM, il microfono sul lato sinistro registrerà il canale sinistro, mentre il microfono sul lato destro registrerà il canale destro. I canali sinistro e destro non cambiano mai, indipendentemente dall'angolo del microfono o dell'orientamento dell'unità.

② **Indicatore di alimentazione**
Si accende quando il dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) sta fornendo alimentazione.

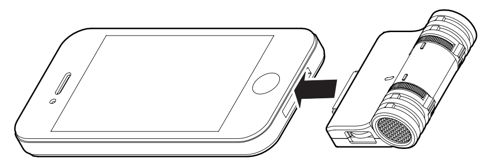
③ **Connettore del dispositivo iOS**
Utilizzare questo connettore per collegare un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione).

④ **Porta USB per la ricarica**
Utilizzare questa porta per caricare il dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)).
Non possono essere trasmessi dati attraverso questa porta.

⑤ **Interruttore LIMITER ON/OFF**
Il limitatore può prevenire la distorsione quando il livello di ingresso è troppo forte. Spostare questo interruttore verso il microfono per accenderlo e allontanarlo per spegnerlo.

⑥ **Livello di ingresso (LEVEL)**
Utilizzare il volume per regolare il livello di ingresso del microfono stereo.
Girare verso il microfono per abbassare il livello e allontanare dal microfono per aumentare il livello.

Collegamento del microfono



L'indicatore di alimentazione si illumina quando il dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) sta fornendo alimentazione. Avviare l'applicazione che si desidera utilizzare dopo l'accensione di questo indicatore.

NOTA

- A seconda dell'applicazione, l'ingresso microfonico di questa unità potrebbe non venire attivato se si collega l'unità dopo aver lanciato l'applicazione.
- Se l'ingresso microfonico di questa unità non diventa attivo neanche quando è collegato a un dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)), provare a scollegare e ricollegare.
- Se lo si collega a un dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) mentre sono collegate le cuffie, il suono potrebbe non essere uscita dalle cuffie. In questo caso, ricollegare le cuffie per riattivare l'uscita dalle cuffie.
- Utilizzare cuffie che non dotate di microfono incorporato con questa unità. Se si utilizzano cuffie con microfono incorporato, quel microfono diventa attivo e non si potrà utilizzare il microfono di questa unità.
- Disattivare l'altoparlante del dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)). Se si collega questa unità, mentre il suo altoparlante è acceso, potrebbe verificarsi un effetto di rientro (Larsen).

CAUTELA

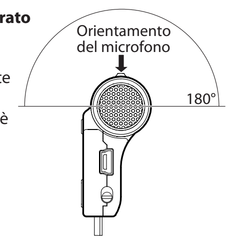
- Collegare alla porta USB di questa unità l'alimentatore originale Apple fornito con il dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) o uno venduto da Apple per il dispositivo. L'uso di un qualsiasi altro alimentatore può causare malfunzionamenti o danni alle apparecchiature. Dopo il collegamento al connettore dell'iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione), collegare il cavo alla porta di ricarica USB.
- Se l'unità non è inserita correttamente nel dispositivo, potrebbe causare un onere eccessivo per l'unità o il dispositivo collegato e danneggiarne uno o entrambi.
- Tenere sempre il dispositivo collegato in posizione quando si lavora con questa unità. Quando si regola il livello di ingresso, si sposta l'interruttore del limitatore, si collega il cavo USB o si cambia l'orientamento del microfono, tenere il dispositivo collegato (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) in posizione. Una forza eccessiva sul connettore potrebbe causare il distacco dell'unità dal dispositivo o persino danneggiare il connettore stesso.
- Scollegare l'unità dal dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)) e riporlo quando non lo si utilizza regolarmente. Se lasciato collegato, una forte pressione potrebbe causare danni all'unità o al dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)).

Uso del microfono

Regolazione dell'angolo del microfono incorporato

È possibile regolare l'angolo del microfono incorporato. Angolare il microfono in base alla posizione dell'unità e della sorgente sonora durante la registrazione.

Il campo di regolazione dell'angolo del microfono è di 180°, come mostrato a destra.



Uso del limitatore

Il limitatore può evitare la distorsione se il livello di ingresso diventa improvvisamente troppo alto. Questo è utile per riprendere registrazioni dal vivo e altre situazioni in cui si verificano variazioni di volume estreme.

NOTA

- Anche se l'interruttore **LIMITER** è impostato su **ON**, può verificarsi ancora distorsione se il volume di ingresso è troppo alto. In questo caso, abbassare il livello di ingresso (**LEVEL**) o posizionare l'unità più lontano dalla sorgente sonora.
- A seconda dell'applicazione in uso, se si scollegano o si collegano le cuffie durante la registrazione o la riproduzione l'applicazione può fermarsi o mettersi in pausa. Fare attenzione a questo, in particolare durante la registrazione.
- Se il dispositivo collegato dispone di una "Modalità aereo", impostarla su "ON".

Specifiche

■ Registrazione

Tipo microfono: cardioide
Risposta in frequenza: 10 Hz - 20 kHz
Frequenza di campionamento: 44,1 kHz
Bit rate: 16

■ Ingressi e uscite

Ingressi dei microfoni incorporati
Sbilanciati
Massimo livello di ingresso: 125 dB SPL

Porta di ricarica del dispositivo iOS
Connettore: USB mini-B

Connettore Dock
Connettore: connettore 30 pin

Intervallo di regolazione del volume
INPUT: 0-40 dB

■ Requisiti operativi

Supporto iOS: 4.3 o successivo
Supporto dispositivi: iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)

NOTA

Per informazioni sulle ultime versioni iOS e dispositivi iOS che sono stati testati con questa unità, si prega di visitare il sito TASCAM (http://tascam.com/).

■ Generali

Alimentazione: fornita tramite il connettore del dispositivo iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4a generazione)
Consumo: 90 mW
Dimensioni (LxAxP): 55 x 48,6 x 21,4 mm
Peso: 25 g
Temperatura di esercizio: 5-35 °C

TASCAM

iM2

Micrófonos condensadores stereo para conexión por dock

Made for iPod iPhone iPad

MANUALE DI ISTRUZIONI

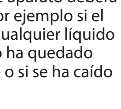
Felicidades y gracias por su compra de los micrófonos condensadores stereo para conexión por dock TASCAM iM2.

Antes de conectar y empezar a usar esta unidad, dedique unos minutos a leer este manual completamente para asegurarse de que comprende cómo conectar y configurar correctamente la unidad, así como el manejo de sus distintas funciones. Una vez que haya leído este manual, consérvelo en un lugar seguro para cualquier referencia en el futuro.

También puede descargarse este manual de instrucciones desde la página web de TASCAM (http://tascam.com/).

INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD

1 Lea estas instrucciones.
2 Conserve estas instrucciones.
3 Preste atención a todos los avisos.
4 Siga todo lo indicado en las instrucciones.
5 No utilice este aparato cerca del agua.
6 Limpie este aparato solo con un trapo seco.
7 No bloquee ninguna de las aberturas de ventilación. Instale este aparato de acuerdo con las instrucciones del fabricante.
8 No instale este aparato cerca de fuente de calor como radiadores, calentadores, hornos o cualquier otro aparato (incluyendo amplificadores) que produzcan calor.
9 No anule el sistema de seguridad que supone un enchufe de corriente polarizado o con toma de tierra. Un enchufe polarizado tiene dos bornes de distinta anchura. Uno con toma de tierra tiene dos bornes iguales y una lámina para la conexión a tierra. El borne ancho del primer tipo de enchufe y la lámina del otro se incluyen para su seguridad. Si el enchufe que se incluye con la unidad no encaja en su salida de corriente, haga que un electricista cambie su salida anticuada.
10 Coloque el cable de corriente de forma que no pueda quedar aplastado o retorcido, especialmente allí donde estén los conectores, receptáculos y en el punto en que el cable sale del aparato.
11 Utilice solo accesorios/complementos que hayan sido especificados por el fabricante.
12 Utilice este aparato solo con un bastidor, soporte, trípode o superficie especificado por el fabricante o que se venda con el propio aparato. Cuando utilice un bastidor con ruedas, tenga cuidado al mover la combinación bastidor/aparato para evitar posibles daños en caso de que vuelquen.



13 Desconecte de la corriente este aparato durante las tormentas eléctricas o cuando no lo vaya a usar durante un periodo de tiempo largo.
14 Consulte cualquier posible avería al servicio técnico oficial. Este aparato deberá ser revisado cuando se haya dañado de alguna forma, como por ejemplo si el cable de corriente o el enchufe se ha roto, si se ha derramado cualquier líquido o se ha introducido un objeto dentro de la unidad, si el aparato ha quedado expuesto a la lluvia o la humedad, si no funciona normalmente o si se ha caído al suelo.

- No permita que este aparato quede expuesto a salpicaduras de ningún tipo.
- No coloque objetos que contengan líquidos, como jarrones, encima de este aparato.
- No instale este aparato encastrado en una librería o mueble similar.
- Este aparato recibe corriente nominal no operativa de la salida de corriente AC aun cuando su interruptor POWER o STANDBY/ON no esté en la posición ON.
- El aparato debe estar colocado lo suficientemente cerca de la salida de corriente como para poder acceder al enchufe en cualquier momento.
- El enchufe de alimentación sirve como dispositivo de desconexión, por lo que colóquelo de forma que siempre pueda acceder a él fácilmente.
- Si este aparato utiliza pilas, dichas pilas (el bloque de pilas o las pilas individuales instaladas) no deben ser expuestas a niveles de calor excesivos como expuestas directamente a la luz solar o sobre un fuego.
- AVISO para aquellos aparatos que usen pilas de litio recambiables: existe el riesgo de explosión en caso de que la pila sea sustituida por otra del tipo incorrecto. Sustituya la pila únicamente por otra idéntica o equivalente.

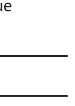
Otras precauciones

- No instale este aparato en los siguientes entornos. El hacerlo puede dar lugar a averías.
  - Lugares sujetos a fuertes vibraciones o inestables
  - Cerca de ventanas u otras ubicaciones expuestas directamente a la luz solar
  - Cerca de calentadores u otros lugares excesivamente calientes
  - En lugares extremadamente fríos
  - Lugares con una mala ventilación o un elevado nivel de humedad
  - Lugares con elevadas concentraciones de polvo
- Evite instalar este aparato encima de cualquier dispositivo eléctrico que genere calor, como puede ser una etapa de potencia.
- No permita que esta unidad se humedezca.
- Si traslada esta unidad desde un lugar frío a uno cálido, o si la usa después de un brusco cambio de temperatura, existe el riesgo de que se produzca condensación; el vapor del aire puede condensarse en los mecanismos internos, haciendo que este aparato no funcione correctamente. Para evitar esto, deje la unidad durante una o dos horas en la sala en la que la vaya a usar antes de empezar a usarla realmente.

■ Para los usuarios europeos

Eliminación de aparatos eléctricos y electrónicos

(a) Nunca debe eliminar un aparato eléctrico o electrónico junto con el resto de la basura orgánica. Este tipo de aparatos deben ser depositados en los "puntos limpios" creados a tal efecto por su Ayuntamiento o por la empresa de limpieza local.
(b) Con la correcta eliminación de los aparatos eléctricos y electrónicos estará ayudando a ahorrar valiosos recursos y evitará a la vez todos los efectos negativos potenciales tanto para la salud como para el entorno.
(c) Una eliminación incorrecta de este tipo de aparatos junto con la basura orgánica puede producir efectos graves en el medio ambiente y en la salud a causa de la presencia de sustancias potencialmente peligrosas que pueden contener.
(d) El símbolo del cubo de basura tachado indica la obligación de separar los aparatos eléctricos y electrónicos del resto de basura orgánica a la hora de eliminarlos.



(e) Los llamados "puntos limpios" de recogida y retirada selectiva de este tipo de productos están disponibles para cualquier usuario final. Para más información acerca de la eliminación de este tipo de elementos, póngase en contacto con el departamento correspondiente de su Ayuntamiento, empresa de limpieza o recogida de basuras o con el comercio en el que adquirió este aparato.

Características

- Puede conectar este micro stereo a un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación) y usarlo para grabar con aplicaciones que admitan una entrada de micro.
- Usando el par de micros condensadores direccionales de alta sensibilidad y de ángulo ajustable puede grabar en formato 44.1 kHz/16 bits de alta calidad, equivalente a un CD audio, en un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación).
- El limitador le permite evitar la distorsión en caso de que el nivel de entrada sea demasiado alto y también puede ajustar el nivel de entrada para conseguir una grabaciones óptimas.
- El conector USB le permite recargar el iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación) conectado mientras usa esta unidad para grabar en ellos.

Elementos incluidos

Dentro del embalaje encontrará lo siguiente.

Tenga cuidado de no dañar estos objetos al abrir el embalaje. Conserve el embalaje y las protecciones por si alguna vez necesita transportar el aparato.

Póngase en contacto con el comercio en el que adquirió este aparato si echa en falta alguno de los elementos siguientes o si observa que alguno de ellos ha resultado dañado durante el transporte.

- iM2 1
- Tarjeta de garantía 1
- Manual de instrucciones (este documento) 1

Acerca de este manual

Cuando hagamos referencia a un botón, conector o control del iM2, utilizaremos el siguiente formato: **LIMITER**.

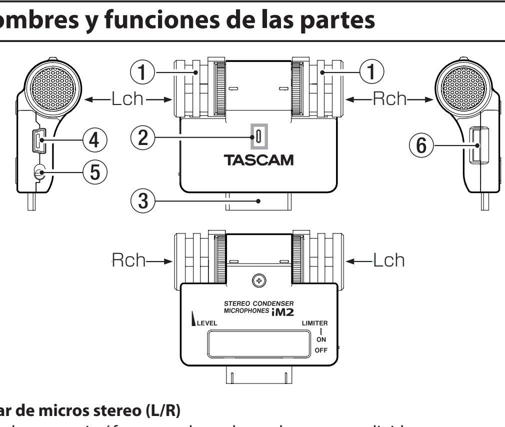
Limpieza de la unidad

Para limpiar la unidad, utilice un trapo suave y seco. No use gasolina, alcohol u otros productos similares ya que podría dañar su superficie.

Derechos de propiedad intelectual

- TASCAM is a trademark of TEAC Corporation, registered in the U.S. and other countries.
- iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- "Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Nombres y funciones de las partes



① **Par de micros stereo (L/R)**
Ambos son micrófonos condensadores electretos cardioides.
Puede ajustar el ángulo del par de micros interno.
Mirando hacia la parte frontal de la unidad, que es el lado en el que está el logo TASCAM, el micro de la izquierda se ocupará de grabar la señal en el canal izquierdo mientras que el micro de la derecha hará lo propio con el canal derecho. Los canales izquierdo y derecho no cambian nunca, independientemente del ángulo de los micros o de la orientación de la unidad.

② **Indicador de encendido**
Este piloto se ilumina siempre que el dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) esté encendido.

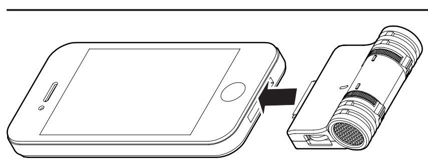
③ **Conector de dispositivo iOS**
Use esta toma para conectar un iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación).

④ **Puerto USB para recargas**
Use este puerto para recargar el dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)).
Este puerto no permite la transmisión de datos.

⑤ **Interruptor LIMITER ON/OFF**
Este limitador puede evitar la distorsión cuando el nivel de entrada sea demasiado alto. Lleve este interruptor hacia el micro para activar el limitador y hacia el otro lado para desactivarlo.

⑥ **Nivel de entrada (LEVEL)**
Use este control para ajustar el nivel de entrada del micro stereo.
Gire este mando hacia el micro para reducir el nivel y hacia el otro lado para aumentarlo.

Conexión del micro



El indicador de encendido se iluminará cuando el dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) esté encendido y pasando corriente a esta unidad. Ponga en marcha la aplicación que quiera usar una vez que se ilumine este piloto.

NOTA

- Dependiendo de la aplicación, es posible que no se active la entrada de micro si conecta este micro después de poner en marcha la aplicación.
- Si la entrada de micro de la unidad no se activa incluso después de haberlo conectado a un dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)), pruebe a desconectar y volver a conectar esta unidad.
- Si conecta esta unidad a un dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) en el que tenga conectados unos auriculares, es posible que no sea emitido sonido a los auriculares. En este caso, vuelva a conectar los auriculares para restaurar la salida.
- Use con esta unidad auriculares que no dispongan de un micro interno. Si usa auriculares que tengan un micro incluido (diadema o similares), el micro de los auriculares tendrá prioridad y no podrá usar los micros de esta unidad.
- Desactive el altavoz del dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) al conectar esta unidad. Si la conectase con el altavoz activo se podría producir una realimentación.

CUIDADO

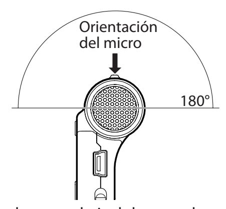
- Conecte al puerto USB de esta unidad únicamente el adaptador de corriente exclusivo de Apple que viene incluido con el dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) o uno comercializado por Apple para dicho dispositivo. El uso de cualquier otro tipo de adaptador puede producir averías o daños en el equipo. Después de conectarlo con la toma del iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación), conecte el cable al puerto de recarga USB.
- Si no inserta correctamente esta unidad en el dispositivo, eso puede producir una carga excesiva en esta unidad o en el dispositivo conectado y daños en una de ellas o en ambas.
- Sujete siempre el dispositivo conectado cuando haga cualquier ajuste en esta unidad. A la hora de ajustar el nivel de entrada, cambiar la posición del interruptor del limitador, conectar el cable USB o cambiar la orientación del micro, sujete el dispositivo conectado (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)). Una fuerza excesiva sobre el conector puede hacer que esta unidad se desconecte del dispositivo o que se dañe el propio conector.
- Desconecte esta unidad del dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) y guárdela cuando no la vaya a usar en un tiempo prudencial. Si la deja conectada, una golpe o una fuerza excesiva sobre el conjunto puede hacer que esta unidad o el dispositivo (iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)) resulten dañados.

Uso del micro

Ajuste del ángulo del micro interno

Puede ajustar el ángulo de los micros internos. Modifique este ángulo de acuerdo a la forma en que coloque la unidad y la posición de la fuente de sonido durante la grabación.

El rango para este ajuste del ángulo del micro es de 180º, tal como puede ver en la ilustración de la derecha.



Uso del limitador

El limitador puede evitar la distorsión en los casos en los que el nivel de entrada aumente de forma brusca. Esto resulta útil para grabaciones de actuaciones en vivo y otras situaciones en las que se puedan producir cambios de volumen extremos.

NOTA

- Incluso aunque el interruptor **LIMITER** esté ajustado a **ON**, se puede seguir produciendo una distorsión en caso de que el volumen de entrada sea excesivo. En ese caso, reduzca el nivel de entrada (**LEVEL**) o aleje la unidad con respecto a la fuente de sonido.
- Dependiendo de la aplicación que esté usando, la conexión o desconexión de los auriculares durante la grabación o reproducción puede hacer que dicha aplicación se detenga o active la pausa. Tenga en cuenta esto, cuando esté realizando una grabación.
- Si el dispositivo conectado dispone de algún ajuste de tipo "modo para aviones", ajústelo a "ON".

Especificaciones técnicas

■ Grabación

Tipo de micrófono: cardioide
Rango de frecuencia: 10 Hz – 20 kHz
Frecuencia de muestreo: 44.1 kHz
Velocidad de bits: 16

■ Entradas y salidas

Entrada de micros internos
No balanceada
Nivel de entrada máximo: 125 dB SPL

Puerto de recarga de dispositivo iOS
Conector: USB mini-B

Conector dock
Conector: conector dock de 30 puntas

Rango de ajuste de volumen
INPUT: 0–40 dB

■ Requisitos operativos

iOS admitido: 4.3 o posterior
Dispositivos admitidos: iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)

NOTA

Para ver la última información relativa a las versiones de iOS y dispositivos iOS que han sido verificados con esta unidad, visite la página web de TASCAM (http://tascam.com/).

■ General

Fuente de alimentación: Recibida a través del conector de dispositivo del iPhone 4, iPad 2, iPad o iPod touch (4ª generación)
Consumo: 90 mW
Dimensiones (LAP): 55 x 48.6 x 21.4 mm/2.165 x 1.913 x 0.8425 in.
Peso: 25 g/0.88 oz
Rango de temperaturas operativas: 5–35°C/41–95°F

TEAC CORPORATION
Phone: +81-42-356-9143
1-47 Ochiai, Tama-shi, Tokyo 206-8530 Japan

Printed in China